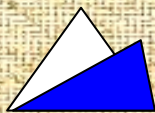


会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）

新日本スポーツ連盟



三島野スポーツクラブ

No. 269

2023年2月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



増山城址より牛岳を望む 小木 清画

2月・3月企画案内

- 2/19 雪の里山漫步
三千坊山
- 3/4 雪上訓練と雪山歩き
八乙女山
- 3/19 雪の金剛堂山
- 3/26 花と展望 角田山

山行報告

- 1/1 元旦登山 二上山
- 1/15 城ヶ平山

寄稿 山田 格

私の不思議な実話です

第25回定期総会

三島野スポーツクラブにとって、今年は創立 25 年の記念の年です。クラブを卒業された会員もあれば、新しい顔も迎えながら豊かな自然と山々に親しんできました。これからもいっそう元気に活動を続けるクラブをみんなでつくっていきましょう。

2月5日（日）午前10時～ 古洞の森 研修室

終了後、ランチ交流会を開催し、山の自慢話や苦勞話・人生のこと・・・久しぶりに語りあいましょう。尚、お酒は提供しません。各自が持ち込むことは自由とします。

2月・3月企画案内

2/19（日） 雪の里山散歩 **三千坊山**

県西部の隠れた名山！雪を踏んで地元の里山を楽しみましょう
雪山シーズン初めての企画です



水道つつじ公園から山頂を往復するコース

スタート 9:00 三千坊山 11:00 ゴール

12:30 (水道つつじ公園東屋で昼食し、帰路へ)

標高差 約 380m 歩行距離 7km

登り 2時間 下り 1時間 30分

体力度・技術度とも★☆☆☆☆

装備はカンジキ、ストック、手袋、帽子、防寒着
温飲料、昼食

参加申込は 2月 9日 まで

的場邦夫 090-4320-5325



3/4 (土) 雪上訓練 & 雪山歩き

八乙女山

756m 南砺市 (旧井波町)

【集合・出発】 8時00分 薬勝寺池 P

9:00~10:30 閑乗寺高原斜面でアイゼン・ピッケル・カンジキの使い方などを練習

10:30~八乙女山カンジキ登山~15:30

16:30 薬勝寺池 P 帰着

【装備】 雪山登山の装備

防寒装備 (ウェア、帽子、手袋など)、ピッケル、カンジキ、アイゼン、スパッツ、温飲料、昼食

(参加希望者で用具の無い方の相談に応じます)

【参加申込】 2月23日まで 的場邦夫

SMS 090-4320-5325 へ



3/19 (日) 金剛堂山

1650m 南砺市 (旧利賀村)

旧スノーバレースキー場横の杉樹林帯から尾根に、片折岳から尾根道を山頂へ。帰路は登山路を下る。

歩行時間 登り 4時間 30分 下り 3時間 30分

単純標高差 900m

体力度・技術度とも★★★★☆☆

※詳細案内は次号会報に掲載します。



雪に埋まる山頂祠

3/26 (日) 角田山

481m 新潟市



2013.3月 角田岬灯台へ下る

角田山は日本海からすぐの所から山頂へと伸びており、大陸からの気候を受け易い立地にあり、冬は厳しい季節風にさらされるが、標高が481.7mと低いため積雪はその割には少なく、3月下旬になれば雪割草やカタクリの花が咲き、快適な登山が楽しめます。

海拔ゼロメートルから登ります。下りは日本海を一望する灯台コースとします。登りコースは未定。

標高差 500m 登り 2時間 下り 1時間 30分

体力度・技術度とも★☆☆☆☆

※詳細案内は次号会報に掲載します。

山行報告

1月1日 元旦 二上山登山

参加者 的場邦夫 守田清子 尾崎美野
林憲彦 甲かほる



ひとくち感想

的 場：前日の予報は雨模様だったが集合場所の陸上競技場は霧雨程度。参加者は自分も含め4名だ。準備しヘッドンを付け出発。雪の量は15~30センチ程度。途中松の広場までは倒木が何か所かあり苦労したが雪道はトレースがあり多少雪が締まって長靴では滑って歩きにくい状態でした。頂上に着くと誰もいませんでした。仲間がいると思っていたが我々だけでした。お社で今年の安全登山と天候に恵まれますよう祈願して下山しました。帰りは悪王子神社で休憩して尾根道から陸上競技場に戻りました。松の広場から雨も上がりまあまあの元旦登山でした！！

守 田：今年も元日の朝に登れた幸せに感謝です。メンバーの皆さんありがとうございました。

尾 崎：三島野スポーツクラブの幽霊会員ですが、元旦登山は欠かさず参加しております。所処の倒木と雨降り後で歩きにくく、うつむきかげんの登山でしたが無事登頂できた事が嬉しかったです

甲：今年は雪が少なかったのが元旦登山の二上山へ行ってきました。ところが、山にはやわらかい雪がいっぱい。思うように歩けず、声を掛けてもらいながら頂上に着きました。温かいコーヒー、甘いチョコをいただいて元気に下山。おにぎりを食べる人もいてびっくり。一緒に登った仲間のように、今年も、元気に山にチャレンジできるいい年にしたいと思います。

林：正月二上山登山はクラブの皆さんのスピードについていく自信が無いので、1月1日午後一人で行ってきました。クラブの皆さんのトレースを頼りに登りました。皆さん有難う
記録：往復2時間58分でした。

メンバー；〈L〉 荒井英治、〈SL〉 的場邦夫、塚 良昭、山本則夫、松田光恵、〈写〉 松田理恵子

【行程記録】

薬勝寺駐車場 8:00
 城ヶ平山登山口（大岩側） 9:10
 城ヶ平山山頂 10:20～10:30
 展望台 10:50
 分岐点 11:00
 城ヶ平山登山口（浅生側）
 昼食 11:20～12:00
 日石寺経由
 城ヶ平山登山口（大岩側） 12:40
 薬勝寺駐車場 13:40



道にも山頂にも雪はなくカンジキの出番なしでした。残念!!

ひとくち感想

- 的 場**：あまり良くない天候でしたが今日は景色よりも歩くことに集中して山行しました。雪が無く登山道はドロドロでした。天候の良いときに又行きます。
- 荒 井**：前日の天気予報では曇り時々雨だった。1週間延期しても好天は望み薄と思ったので、雨の中の登山となっても良しと割り切って実施した。幸いに雨は降っても小ぶりだったのでさほど不快ではなかった。絶景は見れなくても、久しぶりの低山歩きは身体が活性化して良かった。最後に大岩不動を巡るのが収穫だった。過去に何回か来ていたが、さほど印象に残っていなかったのに今回はとても面白く感じた。剥き出しの溶結凝灰岩の迫力、そこに掘りこまれた不動明王の数々が、真言密教の妖しげな世界とマッチングしていて絶妙な取合せだった。地球の躍動の歴史と人間の歴史の関係性が面白くて、近日中にもう一度訪ねてじっくりと観察して見ようと思った。
- 山 本**：前日より雨が降り、ヤママップで調べたところ登山口から城ヶ平山までは、かなり道がぬかるんでいるとのこと。たしか、2021年11月に行ったときも道がぬかるみ、四苦八苦の記憶があり登山靴をやめて、なが～めの長靴にした。予想どおり道はぬかるみがヒドク、滑らないよう注意し小雨の中、ようやく山頂に着いたが見晴しが悪く、前回の光景（富山湾・剣岳等々）を思い出しながら下山。雪山での登山はできませんでしたが、久しぶりにみんなでの登山は楽しく過ごさせていただきました。
- 塚**：曇り空で時々小雨模様の雪のない登山でした。山頂の展望もなかったが、新しい展望台と三重塔も見られて、良い運動になり楽しい山行でした。
- 松田光**：二日続きの雨に気分は重かった。道はぬかるみ、ガスのため眺望も悪く予想通りの山行となった。状況は良くなかったが、久しぶりの山行で、適度に汗もかき良いトレーニングになった。今度は、雪のある晴れた日に歩きたい。
- 松田理**：雪山を歩きたいのに雨の中歩くのは嫌だなあ、と出発しましたが、どろどろの道も何だか楽しかったです。霧に隠れた剣岳を想像しながら下山。秘密の家(?)での昼食も楽しかったです。



私の不思議な実話体験です

山田 格

これは昭和 40 年ころの話です。単独で春の連休前に天狗平山荘で前泊し、立山三山をまわって地獄谷の房治荘で一泊し、翌日午後夕方の仕事で下山のため、弥陀ヶ原バス停に行くために大谷を越え、天狗平山荘から弥陀ヶ原に向かっていました。天候は曇りで、一面のガスで何も見えない状態。風はなく視界は 10m くらいだろうか。大谷を上がり、天狗平山荘に向かおうと歩き始めたのだけれども、少し歩いたところから、残雪が溶けて人の足跡が判らない状態になっている。完全なホワイトアウトだ。耳を澄ませたが、こんな時に限って何にも聞こえない。磁石を出しても天狗山荘はどの方向なのか？わからない。そこでピッケルを立ててザイルを縛り、半径 50m を回り足跡か何かないか探そうと考えた。



半周ほどしたところで、犬が一匹何処からともなく歩いてくるのではない。茶色の中型の柴犬の雑種のような。「こんなところに犬が？」と思ったが、そうだッ！犬について行けばゴミ溜めか何かあるかも…と一瞬ひらめき、大急ぎでピッケルを回収し犬の跡を追った。犬は逃げるでもなく悠然と歩いていく。15 分ほど歩いたところで天狗平山荘がガスの中から現れ、「ヤー助かった！」と叫んだ。ホッとして荷を降ろした。一息入れて辺りを見回すが、一面ガスで人っ子ひとりいない。例の犬は何処へ行ったものか影も形もない。小屋に入ってお茶を一杯もらおうと、私の顔が死人のようだったと小屋の佐伯守さんが笑う。そこで例の犬の話をする。「こんな高いところに、しかも雪の深いところに犬ココロなんか居るわけ無いちゃ」と一笑されてしまった。



一息ついて、4 時過ぎのバスに乗るために、美松坂経由で弥陀ヶ原へ一目散に駆け下ってどうにか会社への出勤時間に間に合った。

後日になって、考えてみると確かに、あの季節にあの標高で、犬が一匹でうろついていること自体が解せない話だ。何処から来たのか？何処へ行ったのか？誰が連れてきたのか？いまだにわからない。道に迷ったのは間違いないし、犬に導かれたのも間違いない。

私の不思議なふしぎな・・・本当にあった体験談です。

〔地名などの解説（編集部）〕

- ※ 立山三山 一般的に雄山 3003m・浄土山 2831m・別山 2880mを指します。また、ただ立山というと雄山 3003m・大汝山 3015m・富士の折立 2999mの総称になります。
- ※ 房治荘 現在の雷鳥ヒュッテ。創業者の「佐伯房治」から経営が変わり現在の名称となった。
- ※ 美松坂 美松坂は天狗平と弥陀ヶ原と結ぶ近道として作られました。バス道路が出来るまで沢山の登山客で賑わっていたのですが、バス開通後一時は廃道状態となりました。しかし数年前天狗平山荘のスタッフや山岳ガイドの方々により整備され安全に歩く事が出来るようになりました。立山室堂周辺では珍しくなった？”地面を歩く”登山道です。所要時間 下り 1 時間 20 分。登り 2 時間。 近年人気コースです。
- ※ ホワイトアウト

気象学分野においては雪や雲などによって視界が白一色となり、方向・高度・地形の起伏が識別不能となる現象のことであり、「白い闇」と呼ぶこともある。

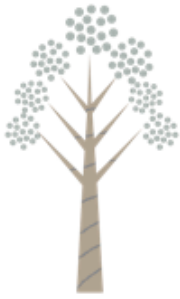
チヨットひとこと

12月に雪が降って以降、暖かい日が続いていた。1月13日は気温が10数℃まで上がる予報が出て、久しぶりに二上山に登りました。陽ざしを受けて温かい登山道を幾人も私を追い越していった。

途中の竹林で竹を切り出し2〜3mの長さに揃えて積んでいる人がいた。「この竹を1本でも2本でも持つて行ってくれませんか？大友家持像のところまで」と声を掛けられ、聞くと家持像付近の樹木の雪囲いをするという。山頂からの下つてくると、件の人が家持像前で雪囲いをされていた。ボランティア活動だと言う。さらに、登山者の駐車場となっている「まなび交流館」は閉館となったが、そのトイレ使用も高岡市に願ひ出たが拒否されたという。城山の駐車場にあるトイレも汚れっぱしだとか…。

市民の憩いの山であり、歴史ある「二上山」をもっと多くの人が訪れ、楽しめるようにするため公的な支援の必要を思いながら、冬の二上山を後にした。

(堀井泰則記)



〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	荒井 英治	射水市上野 465		080-8695-6639

世話人会は上記の方々と、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、加藤日出子、塚 良昭、守田清子で構成します。〔相談役〕山田 格、林 憲彦 〔監事〕草 進、上田千秋
2月の世話人会開催は**2月24日(火)の午後2時から**、会場は「はなみずき」です。どなたでも自由に参加できます。ぜひ顔をだしてください。

会報への寄稿や記録・感想などは編集担当の下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 horii.yasunori@rouge.plala.or.jp

甲かほる kab@p2.tcnnet.ne.jp

松田理恵子 krbara@p2.tcnnet.ne.jp

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るとするには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスはhttp://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.htmlを入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



QRコードが
変わりました

集 集 後 記

- ・当クラブが創立して25年目を迎えることに感慨深い思いがします。同時に、平均年齢の高齢化にも対応した活動の仕方など工夫しながら、より豊かな活動を展開し、会報を通じてそれを全会員と共有できたら・・・と思っています。
- ・山田さんの寄稿を楽しく読ませてもらいました。“それほんと？”と思いながら。編集担当の判断で「註」を付けました。
- ・“寒波到来”のニュースを聞きながら会報をつくっています。1月も20日過ぎて雪が無いなんて…やはり異常。むしろ、冬なら寒波来るのは当たり前とさえ思います。